

令和元年度

八代市議会議会運営委員会記録

審査・調査案件

1. 議会の運営に関する事項

令和元年5月30日（木曜日）

議会運営委員会会議録

令和元年5月30日 木曜日

午後1時02分開議

午後1時40分閉議（実時間24分）

○本日の会議に付した案件

1 議会の運営に関する事項

(1) 1日2常任委員会の開催について

○本日の会議に出席した者

委員長	成松由紀夫君
副委員長	村川清則君
委員	大倉裕一君
委員	亀田英雄君
委員	谷川登君
委員	橋本幸一君
委員	古嶋津義君
委員	村山俊臣君
委員	百田隆君
委員	山本幸廣君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

議会事務局次長 増田智郁君

○記録担当書記 増田智郁君
土田英雄君

（午後1時02分 開会）

○委員長（成松由紀夫君） 定刻となり、定数に達しましたので、ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

◎議会の運営に関する事項について

○委員長（成松由紀夫君） 本日は、本委員会の所管事務であります、議会の運営に関する事項を議題とし、(1) 1日2常任委員会の開催について協議を行いたいと思います。なお、本件については、先の議会運営委員会において持ち帰り協議事項となっておりましたので、本日、引き続き協議を行いたいと思います。

それでは、早速ではございますが、持ち帰りいただいた結果について、事前に各委員を通じ、各会派より事務局に御報告いただいておりますので、その結果について事務局より説明をお願いします。

○議会事務局次長（増田智郁君） 皆さん、こんにちは。（「こんにちは」と呼ぶ者あり）先ほど、委員長より御案内ございました1日2常任委員会での開催に対します、各会派からいただきました結果につきまして御報告申し上げます。

報告につきましては、座って説明のほうをさせていただきます。

○委員長（成松由紀夫君） どうぞ。

○議会事務局次長（増田智郁君） それでは、1日2常任委員会の開催につきまして、お持ち帰りいただきその結果でございますが、会派自由民主党礎さん、同じく絆さん、同じく和さんにつきましては、1日2常任委員会で賛成ということでございます。会派改革・市民の会さんにつきましては、1日1常任委員会の継続を求めるとの結果ございまして、理由につきましては、インターネットで傍聴している議員さんもちらっしゃる。委員会運営で会期を調整するのではなく、委員会終了から最終日までの期間を短縮できないものかとの理由もいただいております。最後に、会派無所属未来八代さんは、賛成ということでございまして、理由につきま

しては、会期短縮になるとの御回答をいただいております。

説明は、以上でございます。

○委員長（成松由紀夫君） それでは、ただいま各会派からの報告内容について、事務局より説明がございましたが、それを踏まえまして、今後、1日2常任委員会の開催についていかがいたしましょうか。仮に、実施するとなれば、その実施タイミングも含めて御意見を願います。

○委員（亀田英雄君） 1日2委員会でいくというかが決定されたちゅう話ですか。

○委員長（成松由紀夫君） いえいえ。まだ、決定ではございませんので、御意見を（委員亀田英雄君「タイミングをちゅ、今、話だったもんですけん」と呼ぶ）もしやるとなれば実施のタイミングも含めて御協議をお願いいたしますという。やるやらないも含めてですよ。

○委員（亀田英雄君） 今の話は、了解しました。うちが1日1委員会で出しているわけですが、私の私見も含めてですね3月議会はという話もさせていただきました。何と言いますか、一遍にするじゃなくて、改正という段階を踏んで、そしていくというやり方はできないものかなと。ここが不安ばいはいけん、変えようじゃなっかというやり方の中でですね、進んでいくというのばちょっと考えたつがですがね、前回、請願と陳情の話の中で、ある人から、苦情、酒飲みの話だったのですが、請願ば出しておんたいには、後は何も言うことがないと。だいけん、おいたも発言する場のあればよかばってんなという話ば受けたもんですけん、いやいや実はあったですよと、だけどそれも廃止しましたもんねんていう話をちょっと受けてですね、ああやっぱりこう一遍に変えていくとじゃなくて、悪い点があれば少しずつ改正という段階ば踏んで進められんもんかなというふうに思うたもんですけん、あえてつけ加えさせていただくんですが、体制は、1日2委員会の中ですが、いろん

なほうなぜこの1日1委員会になったかというのも踏まえて、いいところは残すようなやり方も検討できんもんだらうかなと思ったもんですから、発言をさせていただきました。

以上です。

○委員長（成松由紀夫君） ほかにございせんか。

○委員（山本幸廣君） 未来で、事務局次長のほうから今説明がありましたように、未来会派としてはですね、冒頭、委員長がこれを提案されたときに、短縮という、期間短縮というのが柱にあったもんですから、そういうのを議論しながらですね、うちはようやくゆうべ10時半か11時ぐらいにオーケーをとらせていただいたという中で、再度事務局に御報告をさせていただきました。1日2委員会で賛成という立場をですね、いろいろと議論ありました。その議論の中で、1番あったのが、当初つくったときは、当初1日1委員会の会議録、議事録等を見ながらですね、現時点では、どうなのかというのを議論しながら、最終的には賛成ということになったことをまずは会派の代表として報告しておきます。

○委員長（成松由紀夫君） はい、ありがとうございます。ほかにございせんか。

○委員（大倉裕一君） 私たちの会派の考えというのは、先ほど事務局からあったように継続でと最初おっしゃっていただいたような考え方だったんですけど、私もここに来るまでは、これまでの流れを継続していただきたいということで、そういう思いを持っておりました。しかしながら、亀田代表が先ほど意見として申しましたように、これまでの経過をやはり尊重していただくことができないものかなというふうに私も思います。1日2常任委員会になっても構わない部分も少し気持ちとしてありますので、できれば亀田代表から言われた部分のですね、思いもこの議運の中で尊重していただければというふうな思いを持ち始めたところです。

以上、意見というか、私の個人的なところの話をさせていただきました。

○委員長（成松由紀夫君） ほかに。

○委員（橋本幸一君） これまでの経過ということで、私たちも自民党3会派合同で、この件を最終調整ということで出したんですが、やはり、これまでの経過というのが、現実物語っていると思うんですね。3月定例会について非常に委員会の傍聴者が多かったなら、そら考えざるを得ないと思うんですが。それについても何ら変化はないということですから、その結果を踏まえて1日2委員会ということで、自民党3会派は了解をとれたという、そういう経緯でございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員長（成松由紀夫君） るる御意見はあられますけれども、（聴取不能）前回、採決も含めたお話もさせていただきました。それは、3月議会の傍聴の流れと。そして、ユーチューブ等々ごらんになられているような現状等も含めてだったんですが、実際、1日1常任委員会の部分というのは、議員さん方が、それこそ毎日傍聴できるような云々というような御意見が強かった流れの中でございました。いろいろなことはあるんですが、執行部とお話をする中で、それこそ会期は、1日でも短いほうが執行部としても動きができるということと市長のやっぱり御公務関係でいろいろなお忙しい中でというのも加味しながら、この議論が進んできたように思われます。

採決というふうには、私はもっていきたくございませんので、原則、意見の一致ということを私の本心としておる中で、前回も未来の山本代表が一旦何とか持ち帰らせてくれないかということで、持ち帰った案件でございますので、積極的に意見の統一ができなくても、何とぞそれは採決には持ち込みたくはございませんので、何とかという思いはありますが、その都度、その都度ですね、また1日1常任委員会が必要だ

というような状況があれば、またぜひ提案していただいて、そこで議論をするようなこともできますので、何とかその趣旨を御理解いただいて了承いただきたいなというふうに思ひますが、亀田代表、大倉議員どうでしょうか。

○委員（亀田英雄君） 議会の本分ていうのは、執行部は確かに会期が1日でも短かかほうがよかて言うかもしれまっせん。だけど、議会の本分は、執行部が提案した案件を慎重審議するのが本分ですので、そこにおもねるていうとは、議会のあり方からすると本来の話ではないていうふうに考えます。今の流れの中では、1日2委員会の流れなんですが、委員長の私案の中での調整でよかつじゃなかろうかて思うとですよ。というやり方もでくつとじゃなかろうかて思うとですよ。1日2委員会ば残しながらもですな、よかですか……。

○委員長（成松由紀夫君） 聞いてますよ。

○委員（亀田英雄君） 私案の中で、みなさんにお諮りするていう、1日……案件も少なかけんが、1日2委員会の開催ではどうですかていう扱いでも、私はそつでも構わんとじゃなかろうかと、今度は案件の多かですけん、1日1委員会しましうかていうやり方もあつとじゃなかろうかて思うとですよな。そうした中で残しながら、こらやつばよかばいていうところで廃止していくていう風景が本来の議会のあり方だていうふうに私は考えます。後は、みなさんの考えようなんです。一言だけん、今1日でも審議時間が、期間が短いていう話だったもんですから、それについて私の考え方も含めて述べさせていただきます。

以上です。

○委員（山本幸廣君） 要はこれはもう、こいう事態になつた以上は、満場一致ていうのはなかなか難しいて思うとですよな。それをもつていかな、委員長のその配慮によつてこいう形にもつていくていうのが、そら私も望んでるわけでありすけれども。改革の亀田代表が

言われるその趣旨もよくわかるわけですね。わかります。ただ、類似都市をですね、私もちょっと見たんですけども、会期の期間ですね、二十四、五日か26日もあるし、同じ類似見たところが、19日とか20日ぐらいともある。そういうのを全体の中で各常任委員会で慎重審議する中で、どうしてもその1日中かかる委員会もあるし、半日で終わる委員会もあるし、そういう中で私は、その慎重審議をせにゃいかん。そういうことは、加味加味ですね考えた中でうちの議員の方々にも御理解いただいたのは、会期の短縮というのはですね、これをやっぱし何かどうやって短縮するか、ただ執行部のために云々じゃないと。これは議会をですね、運営する中で会期が、八代市の議会としては長いと。私は、そういうふうに見たんですよ。だから、会期の短縮ならば、じゃ常任委員会、そしてまたいろいろと事務局サイドの仕事量の多さで会期をですね、延ばした経緯もあります。こらはっきり言ってですね。はっきり言って委員会のとりまとめ等々もあるものですから。そういう経緯を踏まえた中で、1日1委員会をしたんですけども、自民党さんが今出されておるその考え方もですね、今の時点を考えれば会期の短縮と1日2委員会でもいいんじゃないかなという、うちはまとまったわけですがけれども。やっぱなかなかそれはですね、改革の亀田代表辺りも御理解できるようなですね、考えていただきたいし、また、改革の言われることもですね、よくわかっておるわけですね。ですからこそ、委員長も大変苦慮なされておると思うんですが、その中で進行する中では、やっぱし意見のとりまとめというのは、満場の中でとりまとめたいただければなという思いであります。よろしかれば、小会していただいけませんか。委員長。

○委員長（成松由紀夫君） 小会します。

（午後1時16分 小会）

（午後1時22分 本会）

○委員長（成松由紀夫君） 本会に戻します。

○委員（古嶋津義君） 実は、私もこの議論が始まってから、みなさんが重要と言われる3月議会に自分の委員会も含めて3回ほど、傍聴、出席をさせていただきましたが、ほとんど議員さんの出席はございませんでした。特に傍聴に来れば、ほかの委員会からも資料等もいただけるものですから、そのこともありましたので出席をさせていただいたわけであります。先ほど、ネットという話もありましたが、その確認はちょっとできませんものですから、そんなに重要ならやっぱ傍聴すべきだろうと私は思って、まあうちの会派どおり、2委員会でいいんじゃないか。そして、時期としては、もう早速6月から始めてみればいかがかなという意見でございます。

以上です。

○委員長（成松由紀夫君） ほかにございせんか。

○委員（亀田英雄君） るる申しましたが、いろんな配慮が柔軟にできるということを、この話し合いの中でありましたようですので、そこはもう1日2、委員長の……この会議の決定で従いたいというふうに思いますし、2委員会でも今議会からスタートしたいとあれば、それには異議ございませんので、ということでございます。

○委員長（成松由紀夫君） はい。それでは、るる、皆さんに大変貴重な御意見をいただきました。皆様にもですね、意見の統一が私の中では図れたのかなと。今、大倉議員、亀田議員から、そして山本議員からお話いただいたところというのはですね、柔軟に含みを持ってくれということでありますが、ころころころころ変えていうようなことは、いかに正副委員長といえどもできませんので、何かことがあればその都度、議運の委員の皆様方にお諮りしながら、丁寧に進めていきたいと思っておりますので、

まずは、実施をスタートするという事で、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） それでは、1日2常任委員会を実施していくということでございますが、今、亀田議員、古嶋議員から実施タイミングについては、令和元年6月というようなことも御意見をいただきましたが、そのタイミングについて、御意見はございますか。

○委員（橋本幸一君） 6月からでいいと思います。

○委員長（成松由紀夫君） ほかになければ…。

○委員（山本幸廣君） 今、橋本委員からも出ましたように、6月定例会からということで、早速きょう、私たちが代表で来ておりますが、持ち帰りはできませんので、即答して、賛成はいたしますので、6月定例会から実施するようにですね。お願いをしておきます。

○委員長（成松由紀夫君） それでは、現在、各定例会中の各常任委員会は、1日1常任委員会での開催となっておりますが、これを1日2常任委員会での開催とすることとし、実施タイミングについては、令和元年6月定例会より行うことに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

それでは、定例会の会期中開催されています各常任委員会については、令和元年6月定例会より、1日2常任委員会の体制で開催することといたします。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） なければ、私、委員長から、みなさんの御意見をいただきたい事項が、1点ございます。

内容としては、請願・陳情の審議結果通知に関する事でございまして、現在、請願・陳情

の審議を行った結果、採択となったもののみ、提出者へ議長名で結果通知をいたしております。また、この通知方法については、先例にも記載されております。このような中、先般、先ほど亀田議員の御意見等もございましたが、市民の方より、請願・陳情の審議結果については、採択された分だけでなく、それ以外の結果についても提出者へ通知していただきたい旨の御意見が寄せられております。

そこで、請願・陳情の審議結果通知方法について、御意見をいただければと思います。

何かございませんか。

○委員（亀田英雄君） せっかく出されたっですけん、通知は丁寧に戻したほうがよかと思います。（聴取不能）に、内容のいかんにかかわらず。

○委員（大倉裕一君） 私も亀田委員と同じく通知については、結果に関係なくすべての陳情者・請願者にお返ししたほうがいいというふうに思います。

○委員（橋本幸一君） 私は結果については、採択・不採択については、当然報告というのは必要かと思いますが。ただ、審議未了については、その必要はないかと思います。

○委員長（成松由紀夫君） 小会いたします。
（午後1時22分 小会）

（午後1時28分 本会）

○委員長（成松由紀夫君） 本会に戻します。
それでは、何か御意見ございませんか。

○委員（亀田英雄君） 請願・陳情につきましてはですね、委員会で審議されて、本会議に上るわけですが、本会議で決定された結果については——その可否については、提出者に通知いただければなというふうに考えます。開催時期は、お任せします。

○委員長（成松由紀夫君） ほかにございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員（橋本幸一君） 3会派を代表いたしまして、私も本会議で議決された採択・不採択、これはもう請願された、陳情された方には、報告していただくということで。ただ、審議未了、それから継続審査については、まだ時期尚早ということで思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長（成松由紀夫君） それでは、ただいまの御意見のとおり、今後、請願・陳情の審議結果通知につきましては、採択または不採択の場合のみ、提出者へ通知することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

なお、通知様式につきましては、委員長及び議長に一任いただければと思います。また、今回の決定に伴い、先例もほうも変更させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

ほかに何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（成松由紀夫君） なければ、以上で本日の議会運営委員会を閉会いたします。

（午後1時40分 閉会）

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和元年年5月30日

議会運営委員会

委員長